

令和3年度 指定管理者運営評価シート

所管課	文化振興課
-----	-------

1. 公の施設

公の施設の名称	西宮市プレラホール
所在地	西宮市高松町4番8号 プレラにしのみや5階
施設概要	プレラホール(275人収容)、練習室(30人収容)、会議室(16人収容)
施設の設置目的	市民の福祉の増進を図り、文化の向上に寄与する。

2. 指定管理者

指定管理者	団体名	西宮地域創生共同体	指定期間	開始日	平成 30 年 4 月 1 日
	所在地	西宮市上田市2丁目5番10号		終了日	令和 5 年 3 月 31 日
選定方法		公募	評価対象年	指定期間 5 年のうち 3 年目	

3. 指定管理者の業務履行状況

①施設の維持・管理関係	<p>常時1名以上の職員で、ホールの受付、収納、管理、利用促進業務等の管理運営業務を実施した。施設管理、清掃などを外部に委託しながら、設備機器等の定期点検等を実施した。 舞台管理には構成団体から常駐1名の舞台要員を置いており、施設の管理や備品・設備の改善について意見交換を行い、事業に活かしている。</p>					
②施設の事業・運営関係	<p>西宮市プレラホールは、貸館としてホールと練習室1室及び会議室1室を設置しており、利用実績は下記の通り。 <ホール>開館:222日 利用日数:83日 <練習室>開館:252日 利用日数:159日 <会議室>開館:258日 利用日数:78日 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年4月1日から5月31日まで休館) ホールは12ヶ月前の月の1日から、練習室と会議室は6ヶ月前の月の1日から申込みを受け付けており、公平な利用を確保するために各月申込み初日に抽選を実施している。 また、指定管理者の自主事業として令和2年度は「第19回東日本大震災復興支援チャリティーコンサート」等計9件を実施した。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、ホール客席、会議室、手すりや机などの備品全てに抗ウイルス加工を施した。また、予防対策についての内容をHP等に記載し利用者に安心して利用いただけるよう広報を行った。</p> <p>労働実態調査の結果：労働条件等に関して、関係法令等に基づき適切に実施されていた。 調査結果後の指示事項：なし</p>					
③指定管理者の提案による取組と今後の改善点など	<p>当初及び指定期間中の提案： 自主事業では、鑑賞事業のほか、構成団体の強みを生かし、芸術関連団体と連携して市民参加型の事業を行う。ホール運営においては、他ホールでの経験を活かし、利用者のニーズにきめ細やかに対応するほか、地域に根差したホールを目指す。</p> <p>取組結果： 自主事業では、コロナ禍において事業の開催が制限される中、動画配信による無観客コンサートを行い、併せて施設のPRも行った。 施設面では、控室照明のLED化を行い楽屋内の照度改善を行った。 また、舞台芸術に特化したスタッフを雇用し、利用者の要望に対して的確な助言を行う等、利用者サービスの向上に努めた。</p> <p>今後の改善点： 引き続き施設の情報や指定管理者の取り組みを積極的に広報し、施設の利用促進につなげる。 施設の点検結果や不具合箇所について、随時市と情報共有を行い、改善に向けた調整を行う。</p>					
施設利用状況(量)を示す指標名	単位	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)	
① ホール稼働率	%	54.4	51.4	26.2	70.0	
② 練習室稼働率	%	64.3	64.9	39.0	70.0	
③ 会議室稼働率	%	43.7	37.2	19.9	70.0	
④ ホール利用件数	件	454	378	164	597	
⑤ 練習室利用件数	件	592	548	281	595	

4. 利用者アンケート等の結果

①利用者アンケート等の実施日・手法	施設利用者に対し施設利用時や抽選会時に随時アンケートを配付した。 また、施設の使用申請手続きの際の面談で使用者の意見・要望を聴取し、利用者からのニーズをできる限りの確に把握できるよう努めている。
②利用者アンケート等の結果	アンケートでは施設設備のほか、スタッフの対応について高い評価を受けた。 施設利用者にも新型コロナウイルス対策の徹底が求められるなか、対策用物品の貸し出しや物品の老朽化についての要望があった。
③結果からの改善点など	引き続き利用者に対して丁寧な対応を行い、利用者の満足度の向上に努めること。 施設設備については適切に点検等を行い、不具合箇所については随時市と情報共有を行い、改善に努めること。

5. 指定管理者の安定性や継続性の評価

①評価結果	令和2年度決算報告書により事業者の経営状況について確認を行った。前年度と比べて収益性がやや低下している構成企業があるものの、事業の継続性について問題ないと評価した。 また、業務に係る収支についても特段の問題は見られなかった。
②評価結果を受けての指示事項	特になし

6. 指定管理料及びその内訳(指定管理者の収入)

(単位：千円)

区分	H30年度(決算)	R1年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(年度協定額)	
指定管理料	33,600	34,223	36,723	34,223	
うち光熱水費					
うち修繕料	(432)	(436)	(440)	(440)	
補足説明	光熱水費については、市が直接負担している。				

7. 使用料等の収納状況(市の収入)

(単位：千円)

区分	H30年度(決算)	R1年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(予算)	
使用料	25,029	19,265	8,385	26,666	
光熱水費等利用者負担金収入	43	43	50	42	
その他の収入	3,289	104	66	114	
合計	28,361	19,412	8,501	26,822	
補足説明	「その他の収入」は、主に行政財産目的外使用料(自動販売機設置手数料)である。 千円未満は、四捨五入しているため、合計額が合わないときがある。				

8. 市による指定管理者の評価

①モニタリングの結果と総合評価	仕様書等に記された業務内容については適正に実施されていた。 舞台芸術に特化したスタッフを雇用し、利用者サービスの向上に努めている。 施設の維持管理に関しては修繕実施箇所について、より快適にホールを利用できるよう併せて改善を行った。 令和2年度はコロナ禍の影響で自主事業の実施が制限される中、9件の事業を実施しており、前指定管理者が実施していた事業を継続したほか、無観客コンサートを配信する等、プレラホールのPRを併せて行い、認知度向上に貢献している。
②指摘事項	引き続き施設の維持管理にかかる課題事項について、積極的な改善、提案に努めること。 市民が様々な形で文化芸術が体験ができるよう、引き続き積極的な自主事業の実施に努めること。